

## 定期報告(ウルグアイ政務・経済:2022年4月)

### 【ポイント】

#### 内政

- 4日、ウルグアイ政府は、罹患歴及びワクチン接種状況次第で入国時に PCR 検査または抗原検査の陰性証明の提示を求めないとの、出入国措置に関する4月1日付政令を発出。
- 6日、ウルグアイ政府は、国家衛生緊急事態宣言を解除する政令を発出。特定の場所でのマスクの使用を推奨するが、義務ではなくなった。

#### 外交

- 7日、ウルグアイ外務省は、大阪・関西万博への参加を表明する旨のプレスリリースを発出。
- 12日、ブスティージョ外相は、ブリンケン米國務長官の招待によりワシントンDCを訪問。
- 19日、ラッソ・エクアドル大統領がウルグアイを訪問。
- 23日、チャヴシュオール・トルコ外相がウルグアイを訪問。

#### 経済

- 4日、メルコスールとシンガポールの貿易協定にかかる対面式交渉会議が再開。
- 5日、国家統計院(INE)は3月のインフレ率が9.35%であったと発表。
- 29日、ウルグアイ政府は燃料価格の値上げを発表。1リットルあたりのガソリン価格は1.5ペソ増加、ディーゼル価格は3ペソ増加、スーパーガスの価格は維持。

### 【本文】

#### 1 内政

##### (1) 出入国措置制限に関する政令の更新

4月4日、ウルグアイ政府は、出入国措置に関する4月1日付政令を発出した。同政令の発表により、新型コロナウイルスに感染しておらず、かつ、自国が承認する SARS CoV-2 ワクチンの1回(注:ジョンソン&ジョンソンの場合)または2回接種済みであることを証明できる者、またはウルグアイ入国前10日~90日の間で新型コロナウイルスに罹患歴のあることを証明できる者に対しては、入国時に PCR 検査または抗原検査の陰性証明の提示を求めないこととなった。

##### (2) 国家衛生緊急事態宣言の解除

4月6日、ウルグアイ政府は、国家衛生緊急事態宣言を解除する政令を発出した。今般の国家衛生緊急事態宣言の解除により、特定の場所でのマスクの使用を推奨するが、義務ではなくなった。

##### (3) 穀物の付加価値税免除に関する法案の提出

政府は国会に対し、パン、クラッカー、パスタ及び麺類の付加価値税(IVA)を1か月間免除する法案を提出、国会にて承認され、7日に施行された。現在これらの製品は10%の付加価値税が

かけられているが、これらの製品の生産コストに影響するモノとサービスの購入及び輸入にかかる付加価値税も還付される。右措置は、30日間実施され、さらに1か月の延長の可能性を有している。

#### (4) 公務員給与及び年金の上乗せ

4月18日、ラカジェ・ポウ大統領は、現下の高インフレの波を緩和するための措置として、年金(jubilaciones)及び生活保護費(pensiones)(注:障害者、高齢者及び親を亡くした者等、労働に何らかの障害や生活の維持に困難が生じる国民へ支給されるもの。)の3%増加及び公務員給与の2%増加を7月1日より実施する旨発表した。

## 2 外交

### (1) 大阪・関西万博への参加表明

4月7日、ウルグアイ外務省は、大阪・関西万博への参加を表明する旨のプレスリリースを発出した。当国外務省は、同プレスリリースを通じて大阪・関西万博への参加は、日本そしてアジア太平洋地域全体との結びつきにおいて、経済及び貿易分野でのイニシアティブの推進に貢献しうると述べている。

### (2) ブスティーゴ外務大臣の米国訪問

4月12日、ブスティーゴ外相は、米国を訪問し、プリンケン米国务長官と会談を実施。二国間関係についてレビューするとともに、ロシアのウクライナ侵攻をはじめとする様々な国際アジェンダについて話し合った。今般の協議テーマの中心となったのは、6月にカリフォルニアで開催される第9回米州首脳会議、中ウルグアイ FTA 関連及び米ウルグアイ間の貿易投資枠組み協定(TIFA)(注:2007年1月締結)拡大の可能性に関してであった。

### (3) ラッソ・エクアドル大統領の訪問

4月19日、ラッソ・エクアドル大統領は、オルギン外相、プラド生産・貿易・投資・漁業相及びマイノ通信・社会相とともにウルグアイを訪問。ラカジェ・ポウ大統領及びラッソ大統領は、両国の共通議題について話し合った。ラッソ大統領は、テレビ番組インタビューの中で「EUのようなラ米における大規模な貿易圏を推し進めたい。」と発言し、また「エクアドルを貿易、投資、及び統合を促進するあらゆる多国間組織の正式加盟国にしたい。」と述べた。

### (4) メヴリュット・チャヴシュオール・トルコ外相の訪問

4月23日、メヴリュット・チャヴシュオール・トルコ外相がウルグアイを訪問し、在ウルグアイ・トルコ大使館の開館式に出席した。また、ブスティーゴ外相とチャヴシュオール・トルコ外相はウルグアイ・トルコ間 FTA 交渉プロセスを開始するための基本事項への署名を行った。他方、翌4月24日はオスマン帝国時代の青年トルコによる1915年のアルメニア人虐殺の日であるとして、抗議の街頭デモを行っていたウルグアイのアルメニア人コミュニティに対しチャヴシュオール・トルコ外相が、抗議者を刺激するジェスチャーを行ったため、ウルグアイ与野党から非難が殺到した。

### 3 経済

#### (1)メルコスール・シンガポール FTA 交渉の再開

4月4日、2019年に交渉開始したメルコスールとシンガポールの貿易協定にかかる対面式交渉会議が再開した。本会議はメルコスールの現議長国であるパラグアイで行われ、交渉テーマは、市場アクセス、投資、公共調達、知的財産及び原産地規則等であった。

#### (2)3月のインフレ率

4月5日、国家統計院(INE)は3月のインフレ率が9.35%であったと発表した。物価上昇の影響を強く受けたのは食品分野であり、豆、野菜、乳製品、卵、肉、パン及び果物の物価上昇が見られた。アナリストによると、少なくとも今年の半ばまでにインフレ率は10%を超える可能性がある。

#### (3)燃料価格の再調整

4月29日、ウルグアイ政府は燃料価格の値上げを発表した。今回の価格再調整により、1リットルあたりのガソリン価格は1.5ペソ増加、ディーゼル価格は3ペソ増加となり、スーパーガスの価格は維持された。

### 4 要人往来

#### (1)往訪

- ・10日～16日:ブスティージョ外相の米国訪問(アントニー・ブリンケン米 국무長官との会談)
- ・19日～26日:アルベレチェ経済財務大臣の米国訪問(世銀及び IMF 会議の参加、国連経済社会理事会(ECOSOC)2022開発融資フォーラム参加)

#### (2)来訪

- ・19日:ラッソ・エクアドル大統領、オルギン外相、プラド生産・貿易・投資・漁業相及びマイノ通信・社会相
- ・23日:チャヴシュオール・トルコ外相